

本年度上半期 市の財政状況を公表 予算の34%が支出済み

市民の皆さんに、より一層、市政への理解と関心を深めていただくため、市では、定期的に市の財政状況を公表しています。今回は、本年4月1日から9月30日までの半年間の予算の執行と地方債、基金の状況をお知らせします。

□問い合わせ 財務課（内線352）

30億9千万円を増額補正

下の表1「補正予算の状況」のように一般会計は28億3,250万円（繰越予算の14億6,174万円含む）、特別会計は4億5,629万円の増額、企業会計は1億9,605万円の減額補正を行いました。

総額では、一般会計が29億9,250万円、特別会計は合計で16億9,949万円、企業会計は79億5,015万円になりました。

補正予算の主な内訳は、6月に介護施設の整備と開設準備に要する経費の補助金の交付、豚流行性下痢対策事業、山岡町の道路災害復旧などに1億0,996万円を計上。9

月に水痘・肺炎球菌の予防接種事業、放課後児童クラブの開所時間延長事業、恵那病院再整備事業のための基金積立、県主要観光資源誘客強化事業の活用事業など12億6,080万円を計上しました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計や介護保険特別会計で前年度精算による返還金や公共下水道事業特別会計で奥戸処理区の計画変更策定業務などの増額補正を行いました。また企業会計では、病院事業会計で市立恵那病院の訪問看護を開始する経費の増額と、再整備事業の事業費と工期の見直しを行い、本年度分の工事を減額する補正をしました。

表1 補正予算の状況（9月30日現在）

内訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	264億6,000万円	28億3,250万円	292億9,250万円
特別会計	157億4,320万円	4億5,629万円	161億9,949万円
企業会計	81億4,620万円	△1億9,605万円	79億5,015万円
合計	503億4,940万円	30億9,274万円	534億4,214万円

※補正額には昨年度からの繰越予算を含む。企業会計の予算額は支出予算

市税の収入率は60%

一般会計の収入の状況を表2に、支出の状況を表3にまとめました。

収入については、市税収入が、予算額に対して60・0％納入されています。

株式等譲渡所得割交付金や自動車取得税交付金、市債は、年度末に納入される予定で、国庫支出金や県支出金は、事業の完了後に納入される予定のため、非常に低い収入率となっています。

支出については、定期的に出る人件費や公債費（借金を返済するお金）は、支出率も順調ですが、衛生費、農林水産業費、土木費は、建設事業などを多く行っているため、事業を完了してからの支出が多くなるため、支出率は低くなっています。

また民生費は、国民健康保険や介護保険事業などの繰出金が下半期に支払われることから、支出率が低くなっています。

一般会計は、市全体の歳入、歳出の状況と同様に、収入率、支出率とも例年通りとなっています。

表2 一般会計収入の状況

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	70億5,000	42億2,845	60.0%
地方譲与税	2億7,790	7,774	28.0%
利子割交付金	1,640	473	28.8%
配当割交付金	2,390	758	31.7%
株式等譲渡所得割交付金	50	0	0.0%
地方消費税交付金	6億4,900	3億3,884	52.2%
ゴルフ場利用税交付金	1億2,530	4,834	38.6%
自動車取得税交付金	3,200	397	12.4%
地方特例交付金	2,400	2,393	99.7%
地方交付税	92億6,416	68億1,411	73.6%
交通安全対策特別交付金	650	272	41.8%
分担金及び負担金	3億1,282	1億0,982	35.1%
使用料及び手数料	4億0,707	1億7,491	43.0%
国庫支出金	25億5,381	7億9,964	31.3%
県支出金	20億4,799	2億2,585	11.0%
財産収入	1億1,395	4,997	43.9%
寄付金	500	208	41.6%
繰入金	3億0,346	0	0.0%
繰越金	17億9,235	17億9,235	100.0%
諸収入	6億6,219	2億4,343	36.8%
市債	36億2,420	2億4,150	6.7%
合計	292億9,250	151億8,996	51.9%

表3 一般会計支出の状況

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億0,490	1億0,988	53.6%
総務費	42億4,126	12億5,533	29.6%
民生費	73億7,322	24億5,254	33.3%
衛生費	47億5,889	8億8,783	18.7%
労働費	3,380	3,250	96.1%
農林水産業費	13億6,420	2億5,993	19.1%
商工費	8億2,426	2億5,514	31.0%
土木費	22億7,633	4億6,924	20.6%
消防費	10億0,907	4億3,735	43.3%
教育費	29億6,502	11億8,283	39.9%
公債費	40億5,400	20億5,511	50.7%
予備費	3,000	0	0.0%
災害復旧費	1億5,755	1億0,990	69.8%
合計	292億9,250	95億0,758	32.5%

市の借金は517億円

市債の状況を表4に、基金の状況を表5にまとめました。

本紙11月1日号で平成25年度末の市債の状況をお知らせしましたが、本年度上半期では、23億5,935万円を返済し、9月30日現在の借入残高は、一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて516億8,222万円、市民1人当たりでは97万2,110円となっています。

一方、9月30日現在の基金は、27億5,063万円の財政調整基金、35億1,065万円の地域振興基金など一般会計分に積み立てる基金で162億7,373万円でした。

他に運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金などがあり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は13億1,093万円でした。

一般会計と特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、181億5,865万円。市民1人当たり34万1,553円となりました。

表4 市債の状況

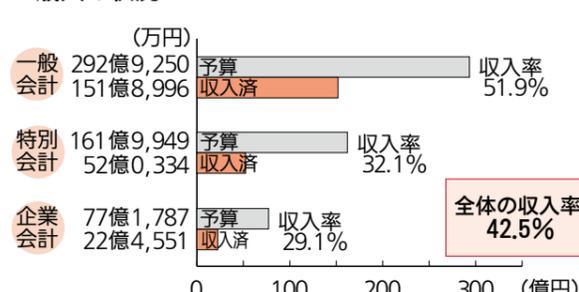
区分	現在高	市民1人当たり
一般会計	339億1,463万円	63万7,913円
特別会計	142億9,057万円	26万8,796円
企業会計	34億7,702万円	6万5,401円
市債総計	516億8,222万円	97万2,110円

表5 基金の状況

区分	現在高	市民1人当たり
積み立てる基金	166億3,422万円	31万2,879円
一般会計の基金	162億7,373万円	30万6,099円
特別会計の基金	3億6,049万円	6,780円
運用する基金	13億1,093万円	2万4,658円
企業会計の基金	2億1,350万円	4,016円
基金総計	181億5,865万円	34万1,553円

※人口は9月30日現在の53,165人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

＜歳入の状況＞



＜歳出の状況＞

